

平成26年度後期 羽東師小学校学校評価

本年度の本校の教育活動を振り返り、今後の教育活動の更なる向上のために実施いたしました「平成26年度後期学校評価アンケート」の集計が終了いたしました。つきましては、集計結果に考察を加えてお知らせいたします。

平成27年3月

京都市立羽東師小学校 校長 中村博美

後期実現度

保護者

0.0% 25.0% 50.0% 75.0% 100.0%

子どもが、忘れ物がないように授業の準備をすること。
学校が分かりやすい授業をすること。
学校の授業で子どもの学力が向上すること。
子どもが毎日、[15分×学年]程の家庭学習をすること。
子どもが、授業以外で1日あたり20分程度以上読書をする。
子どもたちが学校に楽しく通うこと。
保護者が子どもとのふれあいや話し合いの時間をもつこと。
子どもが学校のきまりや約束を守ること。
学校が、一人ひとりを大切にしたい教育活動をする。
子どもたちが正しい言葉づかいをすること。
子どもたちが、早寝早起き、朝ごはんなど、規則正しい生活を送ること。
地域やPTA活動に積極的に参加すること。
保護者が学校へ気軽に相談できること。
子どもたちに家族の一員としての役割をつくること。
学校からの配布物（プリントなど）や学校ホームページ…

■よく出来ている ■出来ている
■あまり出来ていない ■出来ていない
■どちらでもない

教職員

0.0% 25.0% 50.0% 75.0% 100.0%

子どもが、忘れ物がないように授業の準備をすること。
学校が分かりやすい授業をすること。
学校の授業で子どもの学力が向上すること。
子どもたちが毎日、[15分×学年]程の家庭学習をすること。
子どもたちが、授業以外で1日あたり20分程度以上読書をする。
子どもたちが学校に楽しく通うこと。
教職員が子どもとのふれあいや話し合いの時間をもつこと。
子どもが学校のきまりや約束を守ること。
一人ひとりを大切にしたい教育活動をする。
子どもたちが正しい言葉づかいをすること。
子どもたちに、早寝早起き、朝ごはんなど、規則正しい生活を送ること。
地域やPTA活動に積極的に参加すること。
保護者が学校へ気軽に相談できること。
子どもたちに家族の一員としての役割をつくるように働くこと。
学校からの配布物（プリントなど）や学校ホームページ…

■よく出来ている ■出来ている
■あまり出来ていない ■出来ていない
■どちらでもない

児童

0.0% 25.0% 50.0% 75.0% 100.0%

忘れ物がないように授業の準備をすること。
先生の授業がよくわかること。
集中して授業を受けること。
毎日、[15分×学年]程の家庭学習をすること。
授業以外で1日あたり20分程度以上読書をする。
学校が楽しいこと。
自分から進んであいさつをすること。
学校のきまりや約束を守ること。
まわりの人を大切にすること。
正しい言葉づかいに気をつけること。
いつも早寝早起きをして朝ごはんを食べること。
地域やPTA活動に積極的に参加すること。
先生に気軽に相談できること。
家族の一員としての役割を果たすこと。
学校からの配布物（プリントなど）を必ず保護者に渡すこと。

■よく出来ている ■出来ている
■あまり出来ていない ■出来ていない
■どちらでもない

実現度の前期後期の比較

※「よく出来ている群」…「よく出来ている」＋「できている」

「できていない群」…「あまり出来ていない」＋「出来ていない」

保護者	前期			後期		
	できている群	できていない群	どちらでもない	できている群	できていない群	どちらでもない
子どもが、忘れ物がないように授業の準備をすること。	77.1%	21.6%	1.2%	76.7%	22.3%	1.0%
学校が分かりやすい授業をすること。	87.8%	7.1%	5.1%	87.3%	8.1%	4.5%
学校の授業で子どもの学力が向上すること。	74.8%	20.1%	5.1%	75.0%	20.4%	4.6%
子どもが毎日、〔15分×学年〕程の家庭学習をすること。	51.3%	47.0%	1.7%	48.9%	49.4%	1.7%
子どもが、授業以外で1日あたり20分程度以上読書をすること。	17.7%	80.4%	1.9%	18.5%	79.9%	1.6%
子どもたちが学校に楽しく通うこと。	94.9%	4.6%	0.6%	92.4%	5.5%	2.1%
保護者が子どもとのふれあいや話し合いの時間をもつこと。	84.0%	14.4%	1.5%	83.7%	14.0%	2.3%
子どもが学校のきまりや約束を守ること。	92.4%	6.2%	1.4%	89.2%	8.0%	2.8%
学校が、一人ひとりを大切にしたい教育活動をする。	85.7%	5.3%	9.0%	82.2%	8.6%	9.2%
子どもたちが正しい言葉づかいをすること。	51.3%	44.5%	4.2%	56.4%	39.0%	4.7%
子どもたちが、早寝早起き、朝ごはんなど、規則正しい生活習慣を身につけること。	68.0%	30.7%	1.3%	66.4%	32.4%	1.2%
地域やPTA活動に積極的に参加すること。	38.5%	53.7%	7.8%	37.5%	52.3%	10.2%
保護者が学校へ気軽に相談できること。	70.4%	22.8%	6.8%	66.4%	22.8%	10.8%
子どもたちに家族の一員としての役割をつくること。	66.0%	30.5%	3.5%	67.8%	28.8%	3.4%
学校からの配布物（プリントなど）や学校ホームページで学校の方針や様子を理解すること。	78.2%	17.7%	4.1%	77.5%	17.1%	5.5%

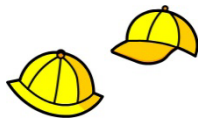
児童	前期			後期		
	できている群	できていない群	どちらでもない	できている群	できていない群	どちらでもない
忘れ物がないように授業の準備をすること。	73.7%	25.8%	0.5%	79.5%	20.0%	0.5%
先生の授業がよくわかること。	90.2%	9.3%	0.5%	89.2%	9.7%	1.0%
集中して授業を受けること。	86.4%	13.1%	0.5%	84.0%	14.9%	1.0%
毎日、〔15分×学年〕程の家庭学習をすること。	59.7%	39.8%	0.5%	67.9%	30.6%	1.6%
授業以外で1日あたり20分程度以上読書をする。	63.5%	33.9%	2.6%	54.1%	41.2%	4.6%
学校が楽しいこと。	93.9%	5.6%	0.5%	90.2%	6.7%	3.1%
自分から進んであいさつをすること。	80.6%	19.4%	0.0%	77.3%	21.6%	1.0%
学校のきまりや約束を守ること。	93.5%	5.8%	0.6%	86.3%	12.7%	1.0%
まわりの人を大切にすること。	91.3%	7.7%	1.0%	87.8%	10.7%	1.5%
正しい言葉づかいに気をつけること。	83.9%	15.6%	0.5%	74.1%	23.4%	2.4%
いつも早寝早起きをして朝ごはんを食べること。	85.1%	14.4%	0.5%	76.1%	21.3%	2.5%
地域やPTA活動に積極的に参加すること。	43.0%	45.2%	11.8%	45.8%	43.7%	10.5%
先生に気軽に相談できること。	67.2%	28.6%	4.2%	68.0%	26.3%	5.7%
家族の一員としての役割を果たすこと。	63.3%	30.0%	6.7%	75.0%	23.4%	1.6%
学校からの配布物（プリントなど）を必ず保護者に渡すこと。	87.8%	11.7%	0.5%	85.5%	12.4%	2.1%

（読書は、“学力の土台”をつくるものです。）

“家庭で読み聞かせをしてもらった経験”と“読書の好き嫌い”は相関関係にあります。つまり、子どもが豊かな読書生活を過ごしていくためには、まわりの大人から読み聞かせをしてもらうことが大きな影響を与えます。羽束師小学校学校運営協議会に位置付けられている『ももたろう読み聞かせサークル』では、月1回朝読書の読み聞かせをしていただいています。加えて後期は“英語での読み聞かせ”や“音楽を取り入れた読み聞かせ”など工夫を凝らした手法によって実施され、子どもたちは本の世界に浸っていました。例えば、「ノーテレビデー」「ノーゲームデー」を作って家族で話す時間や読書する時間を増やすのも大変良い方法です。

（“授業に集中できるように”～基本的生活習慣の確立を～）

早寝・・・成長に大切なホルモンをしっかり分泌します。
早起き・・・朝の光が、体内時計を合わせます。
朝ごはん・・・朝ごはんを食べると、頭も体もすっきりと目覚めます。会話をしながら食べることで、体と心に栄養が行き渡ります。
この「あたりまえ」のことが、豊かに学び、豊かに生きる生活の基本になるのです。



（保護者のコメント欄より）

【低学年】

- ・学年が上がるにつれて、言葉づかいが悪くなる子どもが多いので人を傷付ける言葉をつかわないように家庭でも気を付けていきたいです。
- ・旗当番や見守り隊で子どもに接しますが、もっと元気にあいさつができるようになると思います。

【中学年】

- ・人数の多い学校にも関わらず、先生方が一人一人をよく見て対処してくださっていると感謝しています。親としては、家で教えられる躰の部分は、きちんとしていきたいです。
- ・子どもが忘れ物のないように、朝にも自らチェックしてから学校へ行くようになりました。自ら進んで、いろいろなことにチャレンジするようにもなりました。

【高学年】

- ・学校では集団生活の場を、家庭では個人を大切にする場をと考えております。双方が気軽に連携して、子どもたちを見守っていただけたらと思います。
- ・学校のHPはよく見せていただいています。いろいろな活動の姿が分かるので大変よいと思います。



（家庭学習は、『学力の鍵』のひとつです。）

「全国学力・学習状況調査」の結果より、全国的に、『宿題や家庭学習がしっかりできている児童ほど正答率が高い』『読書好きな児童ほど正答率が高い』傾向にあります。後期アンケートの結果より“家庭学習が毎日できている”と答えた児童が前期より8%増えています。宿題が“毎日のリズムになっている”児童が増えたことは大変良いことです。まず、一定の時間集中して家庭学習ができることが大切です。次に、内容の吟味です。

言葉づかいについて『敬語は言葉の身だしなみ』です。

服にもカジュアルな装いとフォーマルな装いがありますが、言葉にも“ふだんの言葉”と“よそいきの言葉”があります。「場」や「人間関係」を配慮した『言葉の装い』ができるように、低学年から少しずつ躰付けていきたいと考えています。また、“人を傷つける言葉”をつかっていないかなど、厳しい目で見逃すことなく学校と家庭でしっかり教え続けていかなければなりません。



お忙しい中、後期学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。

最後に、『子どもはほめられながら成長していくものです。ほめ上手な大人を目指していきましょう。』また、学校・家庭・地域が三位一体となり共に手を取り合い、大人が子どもと一緒に、学び続ける学校でありたいと思います。学校教育活動に多大なご理解・ご協力いただきましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。